

2022年1月13日

## MISCA ズーム交流報告

今年最初の MISCA とのズーム交流となりました。皆さんズームで参加。これから、ズーム報告も、お一人お一人のお話を載せるのではなく、簡略化していきます。WIFI の調子が悪く、お顔が写ってない方も。



グループ A では、新しく参加されたビルさんも交えて楽しいお話が弾みました。お正月にお孫さんが遊びに来て書きぞめをして、書道の上達を願ったこと。お節料理を作って新しい重箱に詰めたこと。初詣に行ったこと。など。MISCA の会員からは、新年の前夜はニューイヤーイヴのパーティーをして年越しそば・餃子・唐揚げのほか、アメリカン・フレンチなどの世界中のお料理を楽しんだこと。(年越しそばの意味は長生きする願いがこもっていると、IIN 会

員の説明ありました。) 二日酔いのまま、アメリカンフットボールのカレッジリーグ決勝を見ていた。多くのアメリカ人の過ごし方はこれです！今年のミネアポリスは、新年は-20°Cの寒さ (!) だったので、じっと家にステイしていたこと。など、。

またこのグループは短い時間で 2 つ目のトピックも話されました。久しぶりに会った人では、離れて住む両親や施設に入っているお母さま。5分だけしか会うことができない施設の義理のお母さま。友人。など、。久しぶりにしたことは、友人と BBQ を楽しんだこと。自分で作ったご馳走の中でも、贅沢なサーロインを使っのビーフシチューは美味しかったこと。美味しそう！



グループ B では、日本側では”あけましておめでとう”で 始まり、ご家族で、または御一族の方々が集まってお屠蘇とお節料理でお祝い。神様へのお供えの鏡餅を白と黄色の二色のご自宅特製を用意された方も。そして 社寺に初詣でされ、カフェでエスプレッソコーヒー。 百人一首の歌で遊び、DVD の映画鑑賞なども。

茨木神社での行列の縁日の露店で子供達との楽しいひとときなど、それぞれの、平和で穏やかな一日を過ごしられました。アメリカ側の過ごし方は、New Year's Day は Eve のカウントダウン迄はお祭りの様で、後は静かな元旦、ブライアンとシンシアは元旦から三日間は日本食を作ってみられたとか。今回は、お好み焼きを好みの野菜やソースを工夫して楽しまれたそうです。去年も、お二人の素晴らしいおせちを見せていただきました。



グループ C では、たくさんのお孫さんをお迎えして、書き初めをしたり、百人一首にお金をかけてお年玉を増やしたり、ハイキングをして過ごされたり、とそれぞれ楽しんでおられました。お正月の飾りつけを写真でシェアした方もいらっしゃいました。一方、メアリーとワーナーは、大晦日に両隣の近所の人を招いて、たくさん作ってふるまったチリでパーティ。お正月は飲んで過ごし、酔っぱらった車が多いのでお正月は、外へは出ないそうです。メアリーは、日本の七福神に興味があるようでした。ご自宅には、福祿寿の中国で書かれた絵をお持ちでした。七福神とは、の質問

に、日本側もたじたじ。



グループ D では、MISCA の方々は1000ピースのジグソーパズルや、木製の和風ジグソーパズルをして過ごされたようです。

例年、子ども、ペットを含む50人ぐらいの大パーティを行っていたのにパンデミックで集まれず、残念だったとのことでした。

IIN の方々はお孫さんやお子さんが集まり、御節料理を楽しんだり、初詣に行ったり、和やかに過ごされたようです。パンデミックが少し収まっても、両者、なかなか、積極的に動かれなかったようです。MISCA の方からは、久しぶりに動いたローカル電車を利用したところ、完全にプライベート電車で、車両には自分しかいなかったという

話がありました。お正月の神社も、例年に比べると参拝客は少なかったとの感想でした。また、MISCA の方から「今パンデミックで旅行も行けないけど、技術進歩のおかげで、こうしてまるで隣に座っているみたいな感じでIINの皆さんと会え、話せるのは本当に嬉しい」というお声がありました。

本当にその通りで、ズームの技術を身につけられたことに感謝いたします。皆様のおかげで、とってもハイテクなジジ・ババになれました。さて、次回の MISCA ズーム交流は2月24日です。国際交流分科会の皆様がお正月(予定)についてのプレゼンをしてくださるようです。ハイテクな皆様、奮ってご参加ください。